

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(2)	地域との支えあいとは一方通行ではなく、ホームからも認知症についての専門知識やノウハウを様々な場面を通して還元し、支え支えられのこれまで以上のつながりに発展していく	前年度、行う事ができなかった、地域に向けてのサポーター養成講座の機会を利用し、認知症の理解とグループホームの応援者を増やす	今年度、共用型通所の開始予定である事から、利用者とその家族も含め、関わりを持つ方々へのホーム活動についての理解、活動協力を頂きながら、その都度、専門職として、家族、地域に還元できる講座や相談等に応じていく。	一年
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。